

特別演習

専攻共通科目	1 単位	担当教員 比屋根 哲
講義概要 (目標) 第一副指導教員、第二副指導教員が学位論文の作成を多面的に支援するための指導を行い、履修者の専門研究分野における知識の広がりや深み、研究遂行能力の向上を目指します。 (内容) 主として履修者の第一副指導教員及び第二副指導教員が、それぞれの研究分野に基づいて履修者の論文研究課題に即した研究指導を行う内容です。主指導教員が指導内容を計画し、副指導教員が中心となり指導を行います。学生には毎年、進捗状況報告会で学位論文の進捗状況について発表を行っていただき、指導教員陣からの助言を得ます。報告会での助言の他に、指導教員陣の判断で学会参加時等に指導を行う場合もあります。		
評価の方法 進捗状況報告会での発表内容及び指導の過程での状況を含め第一副指導教員と第二副指導教員の所見を元に主指導教員が総合的に評価します。		
講義履修上の注意事項 この科目は、特別研究と同様に指導教員が履修者の学位論文の作成を直接指導するものです。 演習は、1年次および2年次の2年間でを行うことを標準としますが、指導教員と相談の上、2年間を超えて演習を行うことが可能です。(長期履修生等) 第二副指導教員からの指導は、教員が所属する大学に出かけて講義や研究指導を受ける場合があります。		

特別演習終了後の流れ

